

観光情報学会

www.sti-jpn.org

**「第5回観光情報学会全国大会」 in 旭川
大会テーマ 「観光と創造」****5月27日(火)**

18:30~20:30 ウェルカムパーティー (大会前泊希望者のみ対象)

【会場】 扇松園 (せんしょうえん)

【連絡先】 旭川市高砂台3丁目, Tel: 0166-61-5154)

URL <http://www.sensyoen.co.jp/index.php>

迎え: 旭川ターミナルホテル道路側 (18:00 発) → 大雪クリスタルホール前 (18:10 ごろ) → 扇松園

送り: 扇松園 (20:30 発) → 旭川市内

5月28日(水)

10:00~10:30 プレ発表 Web (旭川市旭山動物園) での取組み事例紹介

旭川 ICT 協議会会員・(株)コンピューター・ビジネス 宮前 佑矢

10:35~11:05 各観光情報学研究会活動報告 (各2分)

H-01. いわて

H-02. おきなわ

H-03. かが・のと

H-04. かわごえおくむさし

H-05. さっぽろ

H-06. スノーリゾート

H-07. ちゅうしこく

H-08. ニセコ

H-09. はこだて

H-10. ほくだいがくせい

H-11. ゆざわ

H-12. たいせつカムイ

11:10~12:00 記念講演

IFITT との連携契約を締結

講師 Paul Baron 氏 (オーストラリア支部代表, IFITT の理事)

12:00~13:00 昼食 (各自)

13:00~13:35 開会式

13:00~13:05 開会宣言

13:05~13:10 開会挨拶 (観光情報学会会長) 大内 東

13:10~13:20 来賓挨拶 (北海道上川支庁長) 坂口 収

13:20~13:25 " (旭川市長) 西川 将人

13:25~13:30 " (旭川観光協会会長) 山崎 博幸

13:30~13:35 来賓紹介

13:35~14:05 基調講演

テーマ「扇松園の旅館創り」

講師 扇松園女将 高橋 仁美

14:15~15:00 パネルセッション

テーマ「障害当事者プロデュースによるユニバーサルな雪と氷の世界」

パネラー: 旭川医科大学 教授 吉田 貴彦

車椅子紅蓮隊 (五十嵐 真幸, 川村 徹, 中村 吏志)

15:05~17:05 口頭発表 (演壇にて各15分間, 発表: 12分, 質疑3分)

A-01. 観光情報学会提案 ホテル評価基準

大柳 幸彦, 大内 東 (北海道大学大学院情報科学研究科, 北海道大学大学院情報科学研究科)

A-02. 要介護高齢者・障害者観光ニーズと課題 (調査報告)

東山 知之 (両備グループJB)

A-03. バス会社における観光事業の課題

池田 弘昭 (両備システムソリューションズ)

A-04. 『下見なび』システム構築と実験

浪本 正男 (ちゅうしこく研究会幹事)

A-05. 動物園における園児向け遠足ソフト

富田 隆一郎 (両備ホールディングス)

A-06. インバウンド受け入れにおける国際接遇の重要性

脇山 潤, 堺 真理子 (にせこ観光情報学研究会, プロフェッショナル国際マナー講師)

<「風評被害対策と旅館売上推移との相関関係から見る効果的対策の研究」> 3件合計 30分

A-07. 観光情報学会プロジェクト

大規模自然災害による近隣観光地の風評被害研究

チームリーダー：大内 東（さっぽろ観光情報学研究会）

メンバー：岸野 裕（ゆざわ観光情報学研究会）長尾 光悦（さっぽろ観光情報学研究会）

A-08. 観光情報学会プロジェクト

「風評被害対策と旅館売上推移との相関関係から見る効果的対策の研究」

チームリーダー：大内 東（さっぽろ観光情報学研究会）

メンバー：岸野 裕（ゆざわ観光情報学研究会）長尾 光悦（さっぽろ観光情報学研究会）

A-09. 観光情報学会プロジェクト

「風評被害の早期回復に向けたメディアの情報転換期に基づくアプローチ方法の研究」

チームリーダー：大内 東（さっぽろ観光情報学研究会）

メンバー：須藤 一弘（さっぽろ観光情報学研究会）長尾 光悦（さっぽろ観光情報学研究会）

17:15~18:00 ポスター発表（各1分程度のプレゼン時間：パネル展示会場にて）

P-01. コンジョイント分析を用いた海外観光における旅行動機及びリスク受容に関する研究
ワサンタ ウイクラマシンヘ, 高野 伸栄(北海道大学大学院工学研究科)

P-02. World Hotel Classification Systems

Cser Katalin, 大内 東(北海道大学大学院情報科学研究科)

P-03. Comparison of Japan and Korea's Hotel Classification Systems

Cser Katalin, 大柳 幸彦, 大内 東(北海道大学大学院情報科学研究科)

P-04. HMD を用いた車椅子利用者向け観光支援システムの試作

米田 信之*1, 市川 尚*2, 阿部 昭博*2

(*1 岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科, *2 岩手県立大学ソフトウェア情報学部)

P-05. Bluetooth 携帯電話を用いた UD 観光情報システムの研究開発

佐藤 歩*1, 市川 尚*1, 前本 虎太郎*1, 嶋崎 佳史*2, 大信田 康統*3, 狩野 徹*4, 阿部 昭博*1

岩手県立大学ソフトウェア情報学部*1, (株)KDDI 研究所*2, もりおか障害者自立支援プラザ*3,

岩手県立大学社会福祉学部*4

P-06. 観光情報調査におけるブログの活用

岩佐 涉, 三田村 保, 湯川 恵子, 大堀 隆文(北海道工業大学)

P-07. 北海道江別市の観光資源とその活用に関する提案

斎藤 一 1)2), 石井 真人 2), 向田 茂 1), 安田 光孝 1), 川田 尚紀 3)

1) 北海道情報大学情報メディア学部, 2) 北海道情報大学大学院経営情報学研究科, 3) (株)オハナ

P-08. 韓国・台湾から見た函館観光情報の現状と考察

谷内 真未, 松原 仁(公立はこだて未来大学)

P-09. 観光情報サイト評価法の提案

沢田史子(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科)

朱智超, 福島良一, 大藪多可志(金沢星稜大学大学院地域経済システム研究科, 経済学部)

堀井洋, 吉田武稔(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科)

P-10. 埼玉県ときがわ町観光の可能性

桑原 政則(川奥観研、東京国際大学)

P-11. 川越ブランド『骨酒パック』について

石井 昭三(川奥観研、一心堂)

P-12. 持続可能な観光

枇杷木 賢生(川奥観研、東京国際大学)

P-13. 川越市のホテルの観光戦略

木所 勝邦(川奥観研、東京国際大学)

P-14. 遍プロジェクトによる地域観光の革新 — COP の役割とその効果

堀井 洋, 沢田 史子, DA Ru, 吉田 武稔(北陸先端科学技術大学院大学)

P-15. QR コードと屋号の活用試案について

小川 博(たいせつかみイ観光情報学研究会)

18:00~18:30 観光情報学会 総会

19:00~21:00 懇親会(大雪地ビール館, 旭川市宮下通 11 丁目 Tel 25-0400)

来賓挨拶

(旭川市長) 西川 将人

(旭川商工会議所会頭) 高丸 修

5月29日(木)

9:30~11:30 口頭発表(演壇にて各15分間, 発表:12分, 質疑3分)

<学会と行政のコラボレーション A-10, A-11>

A-10. 北海道の冬観光に向けた電子タグ利活用調査 — 知床実証実験

伊藤 直哉, 長尾 光悦, 奥村 章(北海道大学, 北海道情報大学, (株)HBA)

A-11. CGM を活用した地域観光情報の発信戦略 稚内市での実践

高谷 邦彦(稚内北星学園大学)

A-12. オンラインゲームの観光振興への適用 ー企画の基礎としての訴求対象群の設定ー

五木 宏, 松原 仁(株式会社フジミック, 公立ほこだて未来大学)

A-13. 隙間時間観光経路作成支援システム

丸山 加奈, 大内 東(北海道大学)

A-14. 予測市場による観光動向予測の試み

和泉 潔, 佐藤 哲也, 山口 浩, 渡久地 明(産総研, 静岡大, 駒澤大, 沖縄観光速報社)

A-15. 北海道版着地型観光ビジネスモデルの形成に向けて

佐藤 公一((株)北海道二十一世紀総合研究所)

A-16. デジタルコンテンツ化による歴史資料活用の提案

～歴史資料「梅田日記」を事例として～

堀井 洋(北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科)

A-17. 利用者主導による主観と客観を考慮した個人向け観光情報推薦システム

山下 晃弘, 川村 秀憲, 大内 東(北海道大学)

11:30～11:35 閉会式

閉会挨拶・閉会宣言

12:00～

オプションツアー(希望者のみ対象)

旭山動物園見学・天人峡温泉